

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
ダイバーシティ DIVERSITY 上飯田中 か のうせい【知】 み とめあい【徳・公】 い ぶんか【公・開】 い のち【体・徳】 た くましく【体】	言語能力 心身ともにたくましく生きる力 グローバル化の中で生きる力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
○「チーム上中」として、全職員で安心安全な楽しい学校づくりを目指します。 ・基礎・基本の定着のため、生徒が主体的になる授業実践と個に応じた指導の充実に努めます。 ・自己肯定感を育むため、多様性の尊重を柱とした人権教育と、生徒が主体の活動を推進します。 ・地域社会の一員であることを自覚し、地域活動等に積極的に参加し、貢献できる心を育みます。 ・意欲や向上心の育成と、学校生活の安心安全のため、丁寧な生徒理解と生徒指導に努めます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①小中ブロックや学力向上委の授業研を中心に、生徒が主体的になる授業を実践・研究する。 ②国際教室や特別支援教室に、多くの教員や通訳支援・学習支援ボランティア等がかかわる。 ③英語や数学を中心に少人数・TTの授業を行い、「個に応じた指導」の充実・推進を図る。
担当	学習指導部

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

○全体的に横浜市の平均的な学力より低く、基礎的・基本的な知識技能の定着に大きな課題が見られる。学習言語としての日本語力の不足が要因の一つと考えられる。生徒の学習に対する自信や自尊感情は低く、あきらめてしまう生徒や努力が持続しない生徒が多い。常に授業を工夫し、向上心や意欲を引き出そうと懸命に努力し、H30年度も前年度と比べ、若干ではあるが、学習意欲に向上が見られた。授業における様々な工夫や取組が、成果としてあらわれにくい状況がある。

○学習保障や学力向上に向けて、より手厚い特別支援による個別学習や国際教室での日本語学習の充実が不可欠である。

(2) 学習意欲・生活意識と学力層とのクロス集計による分析

○「朝食を食べますか」という項目について、数学科の学力層とクロス集計してみると、学力層Aの生徒は「朝食を食べる」と回答している。他教科とのクロス集計においても同様の傾向がみられる。

○国籍にかかわらず、学習につまずきある生徒が多く在籍しており、授業等で集中力に欠ける場面がよく見られる。朝食をとることで脳の活性化を図り、少しずつでも学習に集中できる状況を体調面からも作り上げたい。

(3) 継続的な課題

○外国籍ならびに外国につながる生徒が全体の約22%在籍し、関係する国も6か国に及ぶ。それらの生徒の中で、学習言語としての日本語習得を必要とする生徒への学習支援。

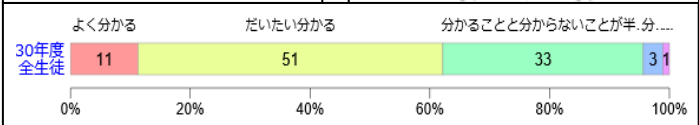
○生徒一人ひとりが意欲的かつ落ち着いて学習に取り組めることを目的とした、個々に応じた丁寧できめ細かな生徒理解と生徒指導の継続。

○生徒一人ひとりの自己有用感の高揚とアイデンティティの確立を目指し、学校教育目標「Diversity 上飯田中」を実現するため、多様性の尊重を柱とした人権教育および生徒の主体的な教育活動の実践と充実。

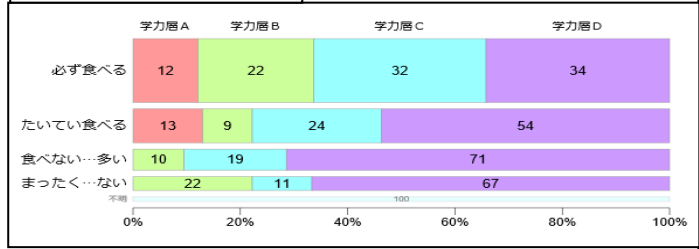
○生徒の学習意欲を喚起し、基礎的・基本的な知識技能の定着につながる「わかりやすい授業」の実践と、自ら継続的に学習に取り組めるようにするための指導方法や評価方法の研究。



学校の授業はわかりやすいですか



朝食と数学科学力層とのクロス



3 令和元年度学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	◆思いや考えを表現する力	漢字や語彙・文法事項など、言葉の基礎基本を学び、話し合い活動やスピーチ等で自己の考えを表現する学習を展開する。	話し合い活動やスピーチの振り返りを行うことで、自身の課題を見つめ、自分の表現力向上に努める学習を展開する。
社会	◆共生社会を形成する態度	課題に対し、他者と関わりながらその解決に向かうような学習を展開する。	自ら学ぶ姿勢を養い、習得した知識や技能を社会や未来と結びつけるような学習を展開する。
数学	◆数学的に表現・処理したりする技能を身につけ、論理的に考察する力	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて、法則や定理を導き活用する展開。	問題解決に向け、数学的な表現で互いに教え合い、考えを高めていく展開。
理科	◆メタ認知する力	実験の事象の説明をする活動を取り入れ、結果を共有する場面を設定する。	実験の結果の共有から、考察などにおいて協働的に学び学習を振り返る場面を設定する。
音楽	◆音楽的表現について意思をもつて的確に伝える力	演奏、鑑賞において、表現の工夫や感じ取ったことを自分の言葉で表現できるような課題を設定する。	表現の工夫や感じ取ったことを他に伝えることができるような課題を設定する。
美術	◆美しいものにあこがれ、自分らしさを愛する力	○基礎基本を大切にし、美術で培った力を生活の中に活かせるような題材の設定 ○試行錯誤し、粘り強く取り組める展開	○生徒自身が強く表したいことをじっくり追求させたり、根拠をもってよさや美しさを考えたりできるように展開する。
保体	◆自己肯定感	自分の課題に対し、課題解決を図る取り組みを通し、運動の楽しさや達成感を味わえる授業展開。	他者と関わり合いながら、改題解決するための工夫ができる力を高める授業展開。
技・家	◆問題発見・課題解決能力	生活と技術についての基礎的な理解を図り、それらに関わる技能が身につけられるような授業を展開する。	生活や社会の中から問題を見だし課題を設定し、解決策を考える、課題を解決する授業を展開する。
外国語	◆英語を活用しながら、あらゆる人々の多様性を尊重し、協働、共生できる	○興味関心をもち、身近な話題について友人に質問したり答えたりすることができるように設定する。 ○言葉でやり取りをすることの大切さを体験できるように課題を設定する。	○互いの考えや気持ちを理解し、根拠をもって外国語で伝えあえるように設定する。 ○意見を述べたり、感想、賛否やその理由を書けるようにする。
道徳	◆道徳的価値の良さを自分の言葉にする力	様々な体験から道徳的価値を見つけ出し、自分の言葉で表現できる素直な心を育てられるような題材を設定する。	道徳的価値を理解し、その良さを自分の言葉で表現できるような題材を設定する。
特活	◆学校生活へ参画する姿勢	様々な集団や自己の生活上の課題を見だしその解決のために話し合い、合意形成を図ったり意思決定したりする活動を設定する。	様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いの良さや可能性を發揮しながら次の課題につなげられるような力を高めていく。
総合	◆地域や社会の中でたくましく生きる力	地域や社会でたくましく生きるために、グローバルな視点を意識しながら自分の考えや力を生かせる課題を設定する。	様々な体験や課題解決によって身につけた力を次の課題設定につなげられるような新たな課題を設定する。
個別級	様々な実践を通じて、可能性を最大限に伸ばし、社会をよりよく生きるための力	知障害学級と自閉症・情緒障害学級の教育課程編成の考え方を明確にした、一人ひとりの多様なニーズに対応するために、障害種別、学年別、交流での共同学習などの「多様な学びの場」の設定と適切な学習内容の設定。	生徒一人ひとりの学習の成果や成長に伴う教育的ニーズを常に把握しながら、課題設定を見直し、さらに生徒の可能性を伸ばす支援方法を工夫し、授業改善を図る。